

令和2年度 自己評価項目

1. 学校の教育目標

本校の教育理念に基づき、きめ細かい指導のもと社会人としての資質の向上と幅広く教養と常識を身に付けたバランス感覚のある人材輩出を目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)教育(教職員として)の質の向上
- (2)人間力の育成・演習・実践の強化
- (3)地域の一員・住民であることを意識し目的に合わせた地域力の活用

3. 自己評価項目の達成及び取組状況

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

令和2年度

(1) 教育理念・教育目標

	評価項目	自己評価
1	学校の教育理念・目的・育成人材像は明文化されているか。	4
2	学生・教職員に対して、学校の教育理念等の周知徹底が図られているか。	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
4	学校における職業教育の特色は明確になっているか。	4
5	学外(保護者含)に対して、学校の教育理念等が公開されているか。	4
	取組と課題 今後の改善方策 教育理念をはじめとして、教育目標、教育内容から取得可能資格などはホームページや学校案内に記載され、入学前から学生、保護者をはじめ、広く一般に公開されている。また、入学後には改めて教育理念をはじめとする教育内容の詳細が記載された学生ハンドブックによって更に深く理解させることができている。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己評価
1	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4
4	理事会が定期的開催されているか。	4
5	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	4
6	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	4
7	人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4
8	賃金制度・昇進・昇格制度は文書化されているか。	4
9	個人情報保護規程が文書化されているか。	4
10	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
11	教職員の健康診断がされているか。	4
12	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4
	取組と課題 今後の改善方策 理事会、評議員会は定期的開催されている。また年度当初には事業計画に沿った組織と職務分掌がなされ、教育目標を達成するために適切な学校運営がなされている。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか。	4
3	カリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
5	業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4
6	産学連携によるインターンシップが体系的に位置づけられているか。	4
7	授業評価の実施・評価体制があるか。	4
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか。	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3
取組と課題 今後の改善方策	令和2年度はコロナ禍の中で各種イベントが中止となり当初予定していた実践授業は行えなかったが、地元の商店街振興組合等と連携することにより職業実践専門課程の実践授業を行うことができた。また例年お願いしているインターンシップについては学生の職業観のレベルアップがより図れるようになった。教員の研修については盛岡商工会議所主催の研修に参加し時流に合ったテーマの研修を行うことができた。今年度は今まで行ってこなかった国際化に関する教員研修を行いたい。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己評価
1	就職率の向上が図られているか。	4
2	資格取得率の向上が図られているか。	3
3	退学率の低減が図られているか。	4
4	卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	コロナ禍の中での就職活動で様々な制約がかかり、例年より内定取得の時期は遅い時期となったが99%超の就職率を達成できた。資格については最難関の宅地建物取引士に1名合格ができたが、資格取得については強化しきれていない面もあり今年度はより強化を図りたい。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
2	学校案内等には育人材像が明示されているか。	4
3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	4
4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	4
5	学校説明会等による情報提供は行われているか。	4
6	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4
7	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	4
8	学生相談に関する体制(面談)は整備されているか。	4
9	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4
10	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4
11	学生の生活環境への支援は行われているか。	4
12	保護者と適切に連携しているか。	4
13	卒業生への支援体制はあるか。	3
14	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4
15	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	学校全体の保護者会を入学式と同時に挙げる予定であったがコロナ禍により中止になったが、各学科の保護者会については行った。学生に対する経済的支援については各種奨学金の紹介を行っている。学校説明会当入学予定者に対するフォローはしっかり行っているが、今後はコロナ禍でもあり、卒業生に対するフォローも行っていきたい。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか。	4
3	防災に対する体制は整備されているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	法令に従って必要な施設設備の点検・修理修繕等行っている。また火災避難訓練や地震防災訓練などを通じて防災意識を高めている。	

(7) 学生募集

	評価項目	自己評価
1	高等学校等に対する情報提供等の取組を行っているか。	3
2	学生募集活動は、適正に行われているか。	4
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	コロナ禍による影響で、高校への訪問活動が思うようにできず、資料発送や電話連絡、一部オンラインなどを通じ情報提供をおこなったが、十分な情報提供が行えたかは不安が残る。より分かりやすい資料の作成や、オンラインツールの活用など臨機応変に対応可能な準備が必要と感じた。一方SNSの活用について、月数回の更新であったものを、一部のSNSでは基本毎日1回以上の更新を目標にあげ実行した。本校SNSへの反応(リピーター)なども増え継続した利用が増えていることがうかがえる。	

(8) 財務

	評価項目	自己評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3	財務について会計監査が妥当に行われているか。	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	少子化の影響で学生数は減少傾向にあり、予算・収支計画は学生数に即して適正な運営がなされている。また財務情報はホームページで情報公開されている。	

(9) 法令遵守

	評価項目	自己評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
3	自己評価の実施と問題点の改善と行っているか。	4
4	自己評価結果を公開しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	毎年、学生・保護者からのアンケートを元に、自己評価を行い、教務会などで問題提起と改善作業を行っている。自己評価についてはホームページで情報公開されている。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己評価
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
2	社会的活動(地域活動・ボランティア等)を評価・単位認定しているか。	3
3	地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか。	3
取組と課題 今後の改善方策	令和2年度も引き続きボランティアには学生に広く告知している。また、地域の商店街の市場において販売活動を学生自ら企画・運営を行った。地域研究の授業において学生の保護者・関係企業等を招待して学生の研究の成果の発表を行った。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己評価
1	受入れ・派遣、在籍管理等について適切な手続き等がとられているか。	3
2	留学生の学習・生活指導等について字内の適切な体制が整備されているか。	3
3	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。	4
取組と課題 今後の改善方策	令和2年度は日本語学科と合同のスポーツ大会を行い、留学生と日本人学生との交流を図った。また日本語学科の留学生と日本人学生と文化交流を主体とした授業を行った。専門課程の留学生は昨年に引き続きホテルでの研修で「おもてなしの心」を学んだ。	

4. 本年度の総合的な自己評価結果と今後の課題

令和2年度は職業実践専門課程に認可を受けて1年目であり、同課程の実践授業はしっかりと行うことができた。またコロナ禍により就職活動や研修等でよりWEB化が進んでおり、これらに対応した就職活動対策が必要になる。また企業との実践授業についても今年度はあらたな取り組みを行っていききたい。